

第 5 回菊川市総合計画審議会（令和 7 年 3 月19日開催）での主な意見について

No.	主な意見	対応方針等
1	<計画書冊子・概要版について>「強化視点」が出てきて、「強化事業」ということはあるかもしれないが、強化の視点があつての事業なので、「強化事業」というと、紛らわしいと感じた。「強化事業」という事業だけが出てくると「強化視点」という言葉が飛んでしまう可能性があるので、表現の仕方を検討してほしい。	表現を「強化視点に基づく事業」に変更していきます。
2	<計画書冊子について>これからは防災ではなくて、もうひとつ切り分けて、震災についても書いた方がいいのではないかと思う。（魅力目標 2 の）「安心」のところに起きる前までの対策と、起きた後、震災後の安全対策、これらをしっかり明記していただければなと思う。防災のところに「事前」と「事後」という言い方がいいのかはわからないが、防災と震災対策、そのような形になればと思う。	魅力目標 2 の政策 1 の防災について、「災害防止」と「災害への備え」に整理しました。施策 1 は「災害が起こらないようにする災害防止対策」、施策 2・3 は災害が起こった場合の備えとし、施策 2 は「市民生活への備え」とし、施策 3 は「行政としての備え」としていきます。施策 4 は「災害時対応（情報・伝達）」に整理し、各施策の文中を変更していきます。
3	<計画書冊子について>（魅力目標 2 の）「安心」の中に浜岡原子力発電所に関することが入っていない。もし浜岡原子力発電所で何かあった時にどうすればいいかわかりませんというのが現状です。災害は起きる。起きた後どうするんだということと、浜岡原子力発電所についても触れたいと思う。	「原子力災害」を含めた各災害の種類（震災・水害等）への対応等は本文中に掲載している関連計画等の『菊川市地域防災計画』に掲載していますので、詳細は個別計画にて対応することと整理しています。
4	<概要版について>よく見ると情報量が多すぎて、重複しているのかなと感じるところが何点がある。細かく見ていくと不必要なところがある気がするので、もう少し全体を通してすっきりまとめられたほうが良いように感じる。	表現が重複する箇所については、削除し、必要な情報のみを掲載するように変更していきます。
5	<計画書冊子・概要版について>（政策大綱の）「施策」のところを見ると、「取り組みます」、「努めます」、「図ります」など、文末の表現が非常にまちまちで、「努めます」というのはあまり熱心にやらないなとか、「図ります」、「推進します」で、「努めます」はあまり力が入っていないなとか、市では意図せずともそのように感じてしまう。これは施策のため、「●●の改善」とか、「●●の整備」とか、途中のところだとどめれば良いと思うので、表現をある程度統一した言い方をした方が良いと思う。	施策を全体を「●●の改善」「●●の整備」といった体言止めの表現に統一し、名称を変更していきます。
6	<総合戦略について>若者とか子育て世代、現役世代の人たちが地域に活発に取り組んでくれるのはとても大事だとは思いつつも、実際には60代後半、70代前半、下手すると80代前半ぐらいの人までが地域の担い手で頑張っている。65歳を超えると生産性がなくなるという従来の捉え方は捨てて、元気な年寄りも年配者も一緒になって社会・地域を作っていかなければ駄目だと頭の構造を変えていながら計画を作っていってもらったほうが良いのではないかと思う。	総合戦略の目指すべき将来の方向性の視点③「増加する65歳以上の老年人口への対応」において、元気な高齢者が増えるなか、経験豊富な人材として活躍できる場を創出していく必要があることを追記していきます。

第 5 回菊川市総合計画審議会（令和 7 年 3 月19日開催）での主な意見について

No.	主な意見	対応方針等
7	<総合戦略について>（人口分析の年齢階級別転入転出状況において）転入と転出の世代別のところで、40代とか60代の方たちは転入が多いとのことだが、20代、30代とか若い方々が転出超過になってしまっている。この転出されている方たちにフォーカスして、なぜ転出しているのか明記した方がよい。	人口分析の年齢階級別転入転出状況において、転出理由を追記していきます。